5月30日（日）【第１会場】

10：00～11：30　学術セミナー４　第１会場

症状から系統的に学ぶ
非特異的かつ曖昧な症状から始まる免疫関連有害事象へのアプローチ

座長：関根　郁夫（筑波大学医学医療系 臨床腫瘍学）
安藤　雄一（名古屋大学医学部附属病院 化学療法部）

AS4-01　Right patient, Right timing, Right dose
キャンサー・ソリューションズ株式会社　桜井なおみ

AS4-02　非特異的かつ曖昧な症状から始まる免疫関連有害事象へのアプローチ：院内／地域を巻き込む患者サポートのチームづくり
筑波大学附属病院 看護部　入江　佳子

AS4-03　免疫関連有害事象への看護師によるセルフケア支援
名古屋大学医学部附属病院 看護部　濱　昌代

AS4-04　非特異的かつ曖昧な症状に対する薬剤師からのアプローチとは何か
埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部　藤堂　真紀

AS4-05　安全なICI治療のために医師が心がけるべきこと
埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科　山口　央

12：00～13：00　共催セミナー８　第１会場

共催：エーザイ株式会社

多職種連携によるレンバチニブの副作用マネジメント ～疲労・倦怠感を中心に～

座長：内富　庸介（国立がん研究センター中央病院 支持療法開発センター）

講演１　レンバチニブ治療の現状
髙橋　俊二（がん研有明病院 総合腫瘍科）

講演２　目に見えない有害事象「疲労」克服の糸口
全田　貞幹（国立がん研究センター東病院 放射線治療科）

13：00～14：30　教育シンポジウム２　第１会場

高齢者のがん治療部会　高齢者のがん治療

座長：長島　文夫（杏林大学医学部 腫瘍内科学）

ESY2-01　高齢がん患者の身体的・精神心理的・社会的脆弱性とその多様性に配慮した個別化医療の展開
東京都健康長寿医療センター 呼吸器内科　山本　寛

ESY2-02　高齢者のがん治療 ～内科の立場から～
島根大学 医学部附属病院　津端由佳里

ESY2-03　高齢者のがん外科治療
関西医科大学 外科　海堀　昌樹

ESY2-04　高齢がん患者の看護の特徴
湘南医療大学 保健医療学部・看護学科　渡邉　眞理

ESY2-05　高齢がん患者に対する薬剤師としての取り組み

昭和大学病院 臨床研究支援センター　佐々木哲哉

ESY2-06　高齢者のがん患者を支えるリハビリテーション～運動療法と栄養療法の推進～

国立がん研究センター東病院 リハビリテーション科　上野　順也

ESY2-07　高齢がん患者・家族（遺族）への精神・心理的課題とその対応

埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科　石田　真弓

14：45～15：45　共催セミナー 11　第1会場

共催：富士製薬工業株式会社

高齢者のがん治療とサポーティブケア

座長：佐伯　俊昭（埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科）
演者：田村　和夫（福岡大学/日本がんサポーティブケア学会）

5月30日（日）【第２会場】

10：00～11：30　特別シンポジウム　第２会場

アピアランスケア研究の現状と課題～アピアランスケアガイドライン2021最新版を作成して～

座長：野澤　桂子（目白大学看護学部 看護学科）

SS-01　化学療法分野のトピックス
国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 がん総合診療センター 乳腺・腫瘍内科　清水千佳子

SS-02　分子標的治療分野のトピックス
国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科　山崎　直也

SS-03　放射線治療分野のトピックス
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 放射線治療科　角　美奈子

SS-04　日常整容領域のトピックス
国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター　藤間　勝子

12：30～13：30　共催セミナー９　第２会場

共催：マルホ株式会社

医療従事者が果たすべきがん性皮膚潰瘍のサポーティブケア

座長：細川　豊史（京都府立医科大学／洛和会丸太町病院）

講演１　がん性皮膚潰瘍の治療・ケアのためのマネジメントに多職種医療スタッフが果たすべき役割について
山崎　直也（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科）

講演２　医療従事者が果たすべきがん性皮膚潰瘍のサポーティブケアのアプローチ
井手　佳美（菊名記念病院 乳腺外科／昭和大学病院）

14：15～14：50　ポスターセッション13　第２会場

皮膚障害

ファシリテーター：高橋　聡（国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科）
松井　礼子（国立がん研究センター東病院 薬剤部）

PS13-01　外来化学療法でのセルフケア確立に向けた再指導の重要性～カペシタビン再導入時に爪囲炎が悪化した一症例～
藤田医科大学病院 看護部　野田早智恵

PS13-02　A病院外来化学療法室での患者の足の実態調査～外来化学療法室フットケア介入を試みて～
福岡県済生会福岡総合病院 外来化学療法室　本山　愛子

PS13-03　ざ瘡様皮疹・脂漏性皮膚炎の重症度及びステロイド外用薬の選択は、血中セツキシマブ濃度と相関する：頭頸部がん治療における皮膚障害の重症度評価と支持療法の検証
浜松医科大学 光尖端医学教育研究センター・ナノスーツ開発研究部　平川　聡史

PS13-04　非小細胞肺癌におけるペムブロリズマブと化学療法併用療法の皮膚障害に関する検討
国立がん研究センター東病院 薬剤部　馬場　楓

PS13-05　顔面右半分を占拠した隆起性皮膚繊維肉腫患者に対して、多職種で意思決定支援を行い、腫瘍切除と筋皮弁再建によって機能・整容面の改善を試みた一例

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科　名嘉眞健太

15：00～16：30　特別企画　第2会場

コロナ禍と支持医療

座長：藤原　紀子（東京大学医科学研究所附属病院 緩和医療・先端臨床腫瘍科）
田上　恵太（東北大学医学部緩和医療学講座 緩和医療学分野）

SP-01　COVID-19流行下におけるがん医療

国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科　下村　昭彦

SP-02　コロナ禍における不安との向き合い方

がん研有明病院 腫瘍精神科　清水　研

SP-03　コロナ禍でがんセンターの歯科が考えたこと・行なったこと

国立がん研究センター中央病院 歯科　上野　尚雄

SP-04　新型コロナウイルス禍におけるがん患者の就労支援について事例を通して考える

国立がん研究センター中央病院 相談支援センター　清水理恵子

SP-05　コロナ禍から見えてきたリスクコミュニケーション

一般社団法人CSRプロジェクト　桜井なおみ

5月30日（日）【第３会場】

12：00～13：00　共催セミナー 10　第３会場

共催：メルクバイオファーマ株式会社

患者さんと築き上げるがん治療 ～ Patient Empowermentを目指して～

座長：宇和川　匡（東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍センター）

講演１　**患者力向上に向けて私たちにできること**
東　　光久（福島県立医科大学白河総合診療アカデミー）

講演２　**患者さん自ら気づいてケアするために～スキンケアを例にして～**
長谷川友美（JA 福島厚生連白河厚生総合病院 看護部）
小室　雅人（国立国際医療研究センター病院 薬剤部）

13：15～14：45　新規医療情報委員会企画シンポジウム　第３会場

支持療法の個別化に向けたアカデミック・ディテーリング―新規便秘治療薬の特性に着目して―

座長：関根　郁夫（筑波大学医学医療系 臨床腫瘍学）
小茂田昌代（医療法人沖縄徳洲会千葉西総合病院 薬剤科）

NSY-01　**日常診療における慢性便秘症の治療ポイント**
―がんサポーティブケアとの接点を見据えて―
国立大学法人筑波大学医学医療系 消化器内科　土屋輝一郎

NSY-02　**化学的視点から見る便秘治療薬**
兵庫医療大学 薬学部　清水　　忠

NSY-03　**新規便秘治療薬の科学的特性 - 薬理学的特徴に注目して**
東京理科大学 薬学部 薬理学研究室　斎藤　顕宜

NSY-04　**がん支持療法・緩和医療としての便秘治療における課題**
筑波メディカルセンター病院 緩和医療科　久永　貴之

NSY-05　**新規医療情報委員会による「がん患者の便秘治療薬アカデミック・ディテーリング」資材の開発**
東京理科大学 薬学部　小茂田昌代

15：00～15：50　ポスターセッション 14　第３会場

CINV（がん薬物療法誘発性悪心・嘔吐）

ファシリテーター：湊川　紘子（聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部）
林　　稔展（福岡大学薬学部 臨床薬学教室）

PS14-01　**妊娠関連乳癌患者の化学療法における悪心嘔吐対策の検討**
埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科　一瀬　友希

PS14-02　**シスプラチンを含むHECに対する標準制吐療法＋オランサピン5mgの有用性を検証したプラセボ対照二重盲検ランダム化第３相比較試験：割付調整因子別のサブグループ解析結果**
和歌山県立医科大学附属病院 薬剤部　西村　知恭

PS14-03　がん化学療法に対する制吐薬としてのオランザピンの使用実態調査

福岡大学 薬学部　林　稔展

PS14-04　緩和ケア病床入室時に嘔気・嘔吐を有した症例の実態調査

和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター緩和ケアセンター　月山　淑

PS14-05　トラスツズマブ デルクステカン投与時の悪心・嘔吐に対するパロノセトロン、デキサメタゾン2剤併用制吐療法の実態調査

聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部　野﨑　智椰

PS14-06　がん患者のCINV対策充実を目指した電子患者日誌実用化の検討
～実装試験の課題解決に向けた患者・病院・保険薬局間における電子的連携の強化～

東京理科大学 薬学部　小茂田昌代

PS14-07　CINVに対する多施設共同ランダム化比較試験をアカデミア発で実施する方法と意義

順天堂大学 乳腺腫瘍学　齊藤　光江

16：30～17：30　共催セミナー 12　第3会場

共催：大鵬薬品工業株式会社

がん薬物療法に伴う悪心・嘔吐（CINV）に対する制吐療法の実践

座長：佐伯　俊昭（埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科）

講演1　**愛知県がんセンターの取り組み**

橋本　直弥（愛知県がんセンター 薬剤部）

講演2　**松山赤十字病院の取り組み**

村上　通康（松山赤十字病院 薬剤部）

5月30日（日）【第４会場】

10：00～11：00　ポスターセッション15　第４会場

Cachexia・栄養1

ファシリテーター：水上　拓郎（聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学）

PS15-01　がん薬物療法による脱毛に対する化粧品・医薬部外品等の使用に関する文献的考察

昭和大学 先端がん治療研究所　酒井　瞳

PS15-02　オピオイド誘発性便秘に対するナルデメジンの効果に影響を与える要因解析：単一施設後ろ向き研究

大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター　神林　祐子

PS15-03　カペシタビンによる大腸癌術後補助化学療法に対するシスチン・テアニンの有害事象軽減効果に関する無作為化二重盲検プラセボ比較第Ⅱ相試験：サブグループ解析による検討

特定非営利活動法人JORTC　浜口　玲央

PS15-04　悪液質誘発因子Growth and differentiation factor 15の進行肺癌組織における免疫染色性の評価

京都府立医科大学 呼吸器内科　田中　理美

PS15-05　がん悪液質が婦人科癌TC療法の毒性に及ぼす影響

金城学院大学 薬学部　山本　祐華

PS15-06　The effect of nutritional counseling in advanced cancer patients; a systematic review and meta-analysis

St. Marianna University School of Medicine, Department of Clinical Oncology　Takuro Mizukami

PS15-07　中鎖脂肪酸とグルコースの併用によるがん悪液質由来心筋障害の抑制

奈良県立医科大学 分子病理学　額賀　翔太

PS15-08　栄養サポート・がん悪液質専門外来における進行がん患者と家族への心理社会的アプローチと多職種連携による統合ケア

国立がん研究センター中央病院 緩和医療科　天野　晃滋

11：15～11：30　ポスターセッション16　第４会場

妊孕性

ファシリテーター：日置　三紀（滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部）

PS16-01　乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療のガイドライン2021年版改定ー作成過程と推奨決定方法、患者参画についてー

虎の門病院 ブレストセンター　田村　宜子

PS16-02　妊孕性温存におけるランダムスタートProgestin-primed ovarian stimulation（PPOS）の利点

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科　黄　海鵬

13：30～13：45　ポスターセッション17　第４会場

FN（発熱性好中球減少症）

ファシリテーター：吉田　稔（帝京大学医学部附属溝口病院 第４内科）

PS17-01　重篤な好中球減少回避のための抗がん薬の臨床薬理学的アプローチによる投与量設定ツールの開発（アムルビシン塩酸塩の治療薬物モニタリング［TDM］ソフトウエアの開発）

埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部　牧野　好倫

PS17-02　自家造血幹細胞移植における発熱性好中球減少症、血流感染症の臨床的特徴

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科　吉野　望

14：00～14：30　ポスターセッション18　第４会場

粘膜炎

ファシリテーター：古賀　陽子（東京医科大学 口腔外科学分野）
宮野加奈子（国立研究開発法人国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野）

PS18-01　歯科口腔外科と連携した口腔粘膜炎への取り組みと課題

社会福祉法人 函館厚生院 函館中央病院 看護部　亀谷　朋子

PS18-02　Nivolumabにより発症した口腔扁平苔癬に対しCepharanthine ®が効奏した１例

宮城県立がんセンター 歯科　臼渕　公敏

PS18-03　アベマシクリブ由来下痢症状に対するロペラミド至適投与量の検討

愛知県がんセンター 薬剤部　橋本　直弥

PS18-04　口唇の乾燥予防に適した保湿剤の検討 ランダム化二重盲検比較試験

松山大学 薬学部 医療薬学研究室　渡邉　真一

14：45～15：00　ポスターセッション19　第４会場

Onco-Nephrology（癌と腎臓病）

ファシリテーター：近藤　千紘（国立がん研究センター東病院 乳腺・腫瘍内科）

PS19-01　腎機能障害合併悪性腫瘍患者の疼痛緩和への薬剤師の提言

医療法人北国会 北川内科　北川　素子

PS19-02　血管新生阻害薬使用症例における蛋白尿の発現状況を検討する多施設共同調査研究（VERSiON UP試験）

市立札幌病院 消化器内科　中村　路夫

5月30日（日）【第５会場】

10：00～11：00　ポスターセッション20　第５会場

高齢者のがん治療

ファシリテーター：久保　寿夫（岡山大学病院腫瘍センター）
鈴木　美穂（聖路加国際大学 看護学研究科）

PS20-01　当院における高齢者胸部食道癌の根治治療の検討
埼玉医科大学国際医療センター 上部消化管外科　李　世翼

PS20-02　Geriatric assessment and clinical outcomes in elderly pancreatic cancer patients
Department of Clinical Oncology, St. Marianna University School of Medicine　Ayako Doi

PS20-03　高齢者に対する胸部食道癌の周術期管理のアウトカムと問題点
埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科　佐藤　弘

PS20-04　高齢神経膠腫患者での現状と問題点
大阪国際がんセンター 脳神経外科　沖田　典子

PS20-05　高齢者における高齢機能評価とがん薬物療法認容性の検討
トヨタ記念病院 看護室　畔柳　加恵

PS20-06　高齢者機能評価ならびに介護・福祉に対する医療者の認知度に関する調査結果
福岡大学病院 医療情報部・消化器外科　吉田陽一郎

PS20-07　レセプトデータを使用した高齢期のがん腫別要介護発生：LIFE Study
神戸大学大学院 保健学研究科　小野　玲

PS20-08　多発骨転移のある高齢がん患者が、症状をセルフマネジメントできたことで合計11部位に放射線治療を行い約２年の間ADLが維持できた１例
JA秋田厚生連 秋田厚生医療センター 放射線治療科　小笠原　瞳

13：00～13：50　ポスターセッション21　第５会場

Cachexia・栄養２

ファシリテーター：西岡　直哉（静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科）

PS21-01　整形外科通院高齢患者のがん合併の有無とフレイル発症の関連
道ノ尾みやた整形外科 リハビリテーション科　石井　瞬

PS21-02　周術期乳がん患者の生活の質と首尾一貫感覚における因果関係の推定：交差遅延効果モデルに基づく予備的研究
北里大学 医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法学専攻　渡辺　愛記

PS21-03　AYA世代がん患者を支援する多職種サポートチームの構築
国立がん研究センター中央病院 緩和医療科　石木　寛人

PS21-04　The nutrition status affects the hand-foot skin reaction in patients with metastatic colorectal cancer receiving regorafenib
Faculty of Medicine, St. Marianna University School of Medicine　Riko Sasuga

PS21-05　サルコペニアが緩和ケア患者の臨床転帰におよぼす影響
愛知医科大学病院 栄養部　竹内　知子

PS21-06　進行非小細胞肺がん患者における、がん悪液質のプラチナ製剤併用療法＋PD-1/PD-L1 阻害薬の治療効果への影響

静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科　宮脇　太一

PS21-07　悪液質モデルマウスへのビタミン投与が腫瘍と骨格筋に与える影響

奈良県立医科大学 分子病理学　川原　勲

14：30～15：35　ポスターセッション22　第５会場

がんリハビリテーション

ファシリテーター：田沼　明（順天堂大学医学部附属静岡病院 リハビリテーション科）
井上順一朗（神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

PS22-01　がん診療連携拠点病院におけるがんリハビリテーションの現状と課題

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科　福島　卓矢

PS22-02　入院加療中の造血器腫瘍患者の抑うつ・QOL に影響を与える因子の検討

手稲渓仁会病院 リハビリテーション部　岩崎ひかる

PS22-03　入院リハビリテーションを受ける進行がん患者の日常生活活動の遂行に影響を与える因子

群馬大学 大学院保健学研究科　下田佳央莉

PS22-04　婦人科がん周術期における耐久性の経時的変化と身体活動量との関連

医療法人渓仁会 手稲渓仁会病院 リハビリテーション部　中山　紀子

PS22-05　食道癌術後の合併症が身体機能や栄養状態に与える影響 －術前と退院時の比較－

埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーションセンター　高木　敏之

PS22-06　局所進行食道癌患者における Relative-dose-intensity と術前補助化学療法前の骨格筋量との関係

国立がん研究センター東病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科　原田　剛志

PS22-07　がん患者の術前におけるがんロコモの発生率とそのリスクファクター

岡山大学病院 総合リハビリテーション部　堅山　佳美

PS22-08　サルコペニアを合併する脊椎転移患者に対する理学療法アプローチ
～下肢筋出力の改善により歩行機能が改善した症例～

順天堂大学医学部附属順天堂医院 リハビリテーション室　大力　真吾

PS22-09　在宅がん患者のがん関連倦怠感と身体活動量との関連についての検討

関西医科大学 リハビリテーション学部　三木　恵美